

ひなたのバロック #6

HINATA no BAROQUE

【ひなたのバロック】とは「五感で楽しむ」がコンセプトの本シリーズ。古楽器による最高の演奏と、大塚直哉の軽妙なトークで、その曲が生まれた当時の新鮮な雰囲気味わいながらお楽しみいただけます。

ひなたのバロック#6」の公演担当が、今回スペシャル・コラボをする「恋史郎コーヒー」店主の田中さんを訪ねました。

担▶バッハの「コーヒー・カンタータ」って、御存知です？

田中▶いや、クラシック音楽とかちょっと難しそうで…

担▶まあそうですね。自分も、バッハってちょっと、しかもめ面というか、気難しい感じがしてるんですけど、この曲は昔からすごく好きなんですよ！なんか、バッハっぽくないっていうか、やたら楽しくって。

田中▶どんな曲なんですか？

担▶むかしむかし、あるところに、「コーヒー大好きな娘さん」がいて、てか、もはや大好きってレベルじゃないですね。「コーヒー、コーヒー、コーヒーをくれよう…コーヒーをくれなきゃ干からびたヤギ肉になってしまうううう…」という感じ(意識)、もうコーヒー・ゾンビと言っても過言ではない。というのは言い過ぎで、自分の欲望に忠実な可愛らしいお嬢さん(ただしコーヒー依存症)を、ソプラノの佐藤裕希恵さんが演じてくれます。で、小池優介さん演じる「旧弊なお父さん」がいて、父は娘にコーヒーをやめさせたくて、あの手この手でやめさせようとするんだけど…っていう、ドタバタ喜劇みたいな作品です。

田中▶それ聞くと、なんか面白そうですね。

担▶いや、そうなんですよ！面白いんです！しかも、そんなに長くない。あわせて10曲で20~30分くらいなんです。笑って見ると、あっという間に終わっちゃう感じ。

田中▶でも、こんなに「コーヒー、コーヒー！」って愛してくれる娘さん、嬉しいですね。この曲が大好きとおっしゃる貴方も、さぞかし、コーヒー好きなんですか？

担▶いや…、実は、ちょっと苦手なくらいで…

田中▶え？

担▶え？…いや、あの、その、…コーヒーって、劇場の職員も大好きな人多くて、職場でも良い香りが漂ってきたりして、そういうの好きなんですけど、実は幼少期、酸っぱ過ぎるコーヒーにトラウマがあって…

田中▶お、そこは私の専門ですね。実は、自分らが取り扱ってるスペシャルティコーヒーっていうのは、…(酸化した酸っぱさとの違いや「サードウェーブ」の話などを延々と興味津々に聴く担当者)。

担▶おおおお！そうなんです！てか、その話を伺ったら、今いただてる、この、ちょっと酸味のあるコーヒー、そのフレッシュな果実味の中から仄かに立ち上がってくる甘み、これ、ほんとに美味しいです！やばい、「違いがわかる男」になってしまった！

田中▶わかっていただけましたか！

担▶てか、この話、「ひなたのバロック」にすごい繋がってくる気がする！だって、古楽器っていうのも、「素材の繊細さ」みたいなところを堪能するのが醍醐味で、スペシャルティコーヒーがトップグレードの豆だからこそ本質

的なコーヒーの本質的な味わいを堪能できる、その楽しみ方と、すごく近い感覚だと思う！

田中▶(なんか、めっちゃ興奮してる…)

担▶だから大塚先生も、古楽というのは、その当時の様式の楽器(古楽器)で当時の響きを奏でる、フレッシュな体験だという言い方をしてみましたもん。むしろ、このフレッシュなコーヒーの相伴に最適なのは、古楽(バロック音楽)しかないと言っても過言ではない！

田中▶いいですね！(暴論！)

担▶いや、もっとデカイ話につながってきた。今回フィーチャーするバッハって、宗教音楽とか教会とかが切り離せないし、そもそも音楽自体、もっと時代を遡っていくと、やっぱりそういう宗教的だったり呪術的な儀式とか、そういうところに端を発してると思うんですけど、コーヒーもまた、そういうところから始まって、そして次第に各地に伝播してヨーロッパにも入ってきて、いつの間にかそもそもの発端の意味とは切り離されて、嗜好品として、爆発的に市民権を得ていく…そんな流れも(クラシック)音楽なんかと同じじゃないですか！…やばいなコレ。公演当日、田中さんにも大塚先生と、後半の「コーヒー・カンタータ」の演奏前に少し対談してもらえたらと思ってるんですけど、なんだか、めっちゃ盛り上がりそうですね。時間はたぶん10分くらいしかとれないと思うんだけど…

かくしてコーヒー&芸術談義が果てしなく続く…



ちいさなちいさなマルシェ開催

コーヒーや焼き菓子の販売！

時間 13時から17時まで

場所 橘公園噴水広場(宮崎市民プラザ前)
(公演中・休憩中を除く)

恋史郎コーヒー

焼き菓子 IMAGINE

場所 市民プラザ1階ロビー

炭火焙煎珈琲 南蛮屋

カフェ「ラララはあーと」

公演情報

2025年

3/2「ひなたのバロック」

(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場：宮崎市民プラザ オルブライトホール
〒880-0001 宮崎市橘通西1丁目1-2

出演：大塚 直哉(企画・監修/チェンパロ)

桐山 建志、大西 律子(バロック・ヴァイオリン)、廣海 史帆(バロック・ヴィオラ)
西沢 央子(バロック・チェロ)、栗田 涼子(ヴィオローネ)、戸高 美穂(フラウト・トラヴェルソ)
佐藤 裕希恵(ソプラノ)、藤井 雄介(テノール)、小池 優介(バリトン)

〈プログラム〉 J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲第5番 BWV1050
コーヒー・カンタータ BWV211 ほか

